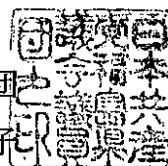


2015年2月25日

東京電力株式会社
代表取締役社長 廣瀬直己 様

日本共産党福島県議会議員団



団長 神山 悦子

阿部裕美子

宮川えみ子

長谷部 淳

宮本しづえ

汚染雨水港湾外流出の情報隠しと放置に断固抗議し、これ以上「海を放射能で汚さない」ことを求める申し入れ

昨日、2015年2月24日、東京電力は、福島第一原発2号機の原子炉建屋屋上にたまる高濃度の放射性物質を含む雨水が、排水路を通じて港湾外に流出していたことを明らかにした。

東電はすでに昨年4月、2号機西側から港湾外につながる排水路の放射性物質濃度がほかの排水路に比べて高いことを把握して原因を調査しており、1年近くにわたって情報を隠し続け、海洋流出を防ぐ措置を講じなかったことは、福島県民を愚弄するものと断じざるを得ない。

高濃度に放射能汚染された第一原発敷地内に降り注いだ雨水が高い所から低い所に流れる以上、その汚染雨水が海に流れないようにするには、外洋に通じる排水路をふさぐ以外にない。そうしてこなかったこと自体、「海を放射能で汚さない」立場に立っていないと言わざるを得ない。

こうしたことが繰り返される事態に対し、断固抗議するとともに、これ以上「海を放射能で汚さない」立場で、全ての情報を公開し、排水路が外洋に通じる場所はふさぐなど、直ちに対策を講じることを強く求める。

以上